



運営会議 準備会通信

発行 2021年7月
世田谷区北沢総合支所地域振興課

第1号

令和3年度 第1回 (仮称)花見堂複合施設 運営会議準備会 開催



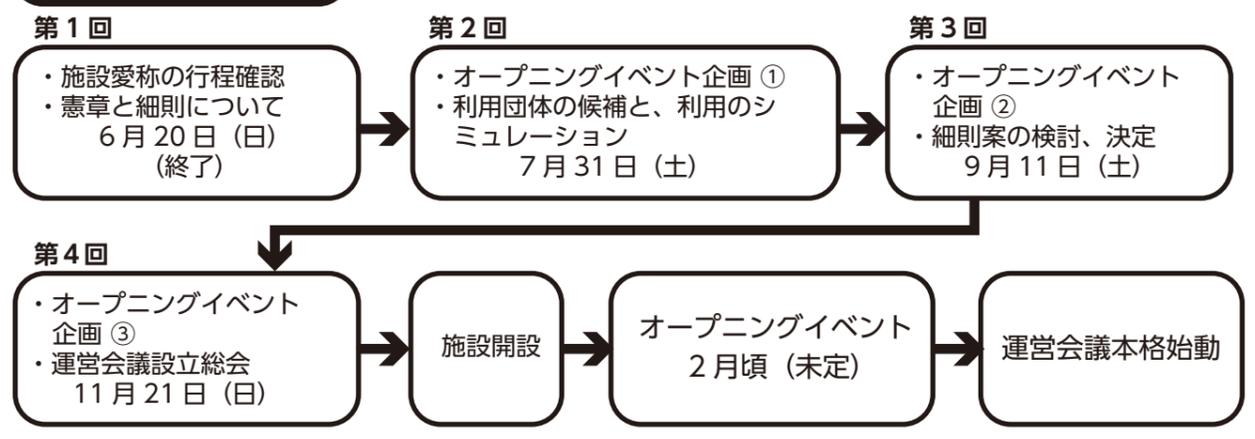
討課題として以下の説明があり、それについて意見交換を行いました。

- ① 花見堂複合施設憲章(案)
「この場所を未来の子どもたちのために」
- ② 施設名称(愛称)の決定方法
(案1)施設開設前に決定する
(案2)施設開設後イベントで決定する
- ③ 施設運営組織、規約細則等の検討
運営委員の構成、運営会について、事務局が行う業務、会費、声かけする団体、会員の役割、開設後の施設での活動、フリースペースについて 等

第1回の議論の結果、①については概ね合意され、②については案2で進めることが決まりました。また③細則の検討にあたり、次回、花見堂小学校で活動していた団体と、新施設での活動を希望する団体の使用したい場所と曜日等の情報を持ち寄ることとし、終了しました。

第1回参加者数 地域の方16名、区職員6名、事務局2名 計24名

今年度の進め方



第2回準備会

7月31日(土) 10時~12時

どなたでも参加できます。ふるってご参加下さい
代沢まちづくりセンター 活動フロア
(世田谷区代沢五丁目1番15号)

問い合わせ先

世田谷区北沢総合支所地域振興課

電話 03-5478-8045 メールアドレス SEA02205@mb.city.setagaya.tokyo.jp

準備会での質疑応答と主な意見

<開館時間>

Q 開館時間などはどうやって決まるのか?

A 区が管理をするので、区の方針で決まる。フリースペースは地区会館に準ずる。

<維持管理について>

Q 利用団体の清掃を徹底して欲しい。剣道は裸足になるので、前の団体の清掃が不十分だと困る。モップが汚れていることもある。

A 清掃は利用団体のほか、管理者も行う。モップ等清掃道具の管理は管理者が行うことになる。地域振興課が管理する施設の中で土足禁止は遊戯室のみ。児童館は靴を脱ぐ。

<憲章について>

- ・これまで話し合ってきたことが入っている。表現の修正はあるかもしれないが、内容はこれで良い。
- ・この内容を理解してくれる利用者なら、運営もうまくいくと思う。

<花見堂地区会館、代田南児童館、障害児通所施設の複合施設の愛称の決め方について>

- ・インターネットではなく、実際に施設に足を運んでくれている人で決めたい→案2で進めたい。
- ・障害児通所施設は、令和4年度中開所予定。名称はまだ決まっていない。
- 障害児通所施設とも一緒にやっていきたい。名称も統一したものをつけられないか。
- 区では、運営事業者の公募時に名称の条件は提示していないが協議する。
- 将来事業者が変わった場合にも名称が変わらないよう、条件をつけておきたい。
- 行政だけでなく、地域の人たちも「花見堂」という名称の趣旨を将来に伝える役目がある。

<新施設利用の意思確認>

- ・元々花見堂小学校を使っていた団体等に、新施設に戻ってきたいかどうか、あらためて意思を確認する必要がある。
- バレーボール、剣道、野球など。
- ・スポーツ系だけではなく、会議室を使いたい活動団体もあるので、それらの団体の意向についても、地域の方々が手分けして確認する必要がある。
- ・花見堂小学校を利用していた団体は、現在代沢小学校を利用している。代沢小を利用している団体から、小学校に「花見堂の施設は使えるのか」という問合せがあったと聞いた。
- 区から小学校に連絡して状況を把握、必要に応じて意向を確認する。
- ・元々花見堂小学校を利用していなかった新規団体が運営会議に入り、施設を使いたいという場合は、趣旨に賛同してもらう必要がある。これらの団体の公募は正式に運営会議が立ち上がり、体制ができて落ち着いてからの方が良いだろう。
- ・児童館との調整も必要である。児童館の遊戯室の利用については、あらためて地域振興課と調整する。
- ・児童館の施設運営に支障のない範囲での団体利用についても引き続き調整する。

<けやきネット>

- ・地区会館の会議室は、地域の利用がない時間帯は、けやきネットで利用者を受け付ける。
- ・けやきネットのスケジュールでは、利用の2ヶ月前には利用受付を開始するので、例えば12月に利用をスタートさせるとすると、10月には予約受付を開始することになる。
- ・それまでに地域団体の要望を確認し、決めるのは困難ではないか?
- ・けやきネットの対象となるのは会議室であり、遊戯室と広場は対象外なので、それなら可能ではないか。

花見堂複合施設憲章(案)

小学校があったこの場所を大切に思う気持ちを、地域の人やこの施設を利用する人々と共有していくために、憲章を作成することになりました。

この場所を未来の子どもたちのために

57年の歴史に幕を下した花見堂小学校は子どもたちの学びの場であるとともに、地域活動の拠点でもありました。この地に新たな施設を整備するにあたり、地域と行政が連携し、8年間にわたり新しい施設のあり方について議論を積み上げてきました。

新しい施設では、花見堂小学校が地域で果たしてきた「子どもが集う場」「地域コミュニティの核」「地域防災機能の拠点」という役割を継承するために、常にこの基本に立ち返ることが必要です。

そのため、以下の憲章を定め、この経緯と理念を次世代に引き継ぎます。

- ① この施設は、地域の人たちが自主的に運営する新たなコミュニティの拠点であり、自分たちの手で日々手入れをする新しい公共施設のあり方をめざします。
- ② 施設の利用者は、施設の理念を守り、運営を支援するための役割を担います。また、地域の安全安心のため、災害時の避難所運営に積極的に関わります。
- ③ 施設の運営は、子どもの声が聞こえる施設という基本に常に立ち返り、子どもたちの目線を大切にします。
- ④ フリースペースは、この施設の核となるように、子どもから高齢者まで誰もが気軽に立ち寄れる、開かれた場所とします。
- ⑤ 施設のしつらえは、花見堂小学校や旧児童館・地区会館の樹木を活用し、地域の歴史を次世代に引き継ぎます。
- ⑥ 樹木やフリースペースは、地域の人とともにゆっくり育てます。その時々共通の体験を皆でつくり、子どもたちの思い出の場所とします。

愛称の決定方法

(仮称) 花見堂複合施設は、代田南児童館・花見堂地区会館・障害児通所施設からなる複合施設で、公的な施設全体を示す名称はありません。そこで施設全体を示す名称(愛称)を地域で決めようと、その決め方について2案を検討し、より広く地域の皆さんに参加いただけるという理由で<案2>に決定し、下記のスケジュールで進めることになりました。

- 案2で進める**
- 案1 施設開設前に決定する
 - 案2 施設開設後のオープニングイベントで決定

施設名称(愛称)公募のスケジュール

(後日詳細なスケジュールや投票方法をホームページ等でお知らせします)

令和3年

- 8月末 「愛称」の候補を公募開始
- 10月 メ切
- 11月 「愛称」候補を3~5案程度に絞り込み(11月の準備会にて)
- 12月 「愛称」候補に対する投票
(花見堂複合施設でも投票受付)
- 2月 オープニングイベント開催
会場での投票とあわせて、最終集計イベントの中で、愛称を発表
- 2月~ 建物に設置するサイン(看板)の制作・設置

これまでの通信を展示

これまでの花見堂小学校跡地活用の話し合いを振り返ることができるよう、発行してきた通信を壁に展示しました。現在、代田南地区会館ロビーで展示しています。

発行 平成25年12月
世田谷区教育委員会事務局 学校適正配置担当課

第1回 花見堂小学校跡地活用検討ミーティング開催

平成25年11月24日(日) 午前10時から12時までの2時間、花見堂小学校家庭科室で、第1回花見堂小学校跡地活用検討ミーティングが開催されました。地域の方39名、学校長、区職員14名、事務局7名の総勢61名が将来のイメージを真剣に話し合いました。今後は今回の内容を整理し、来年の夏頃を目途に方向性をまとめていくこととなります。

プログラム

- ① 趣旨と進め方
- ② 情報提供 前提となる条件
- ③ 将来の希望、やってみたいこと、疑問点の共有

次回のお知らせ

日時：平成26年1月26日(日) 午前10時~12時
場所：花見堂小学校2階 家庭科室(世田谷区代田1-13-9)
内容：導入施設の方向性検討
第1回の意見をもとに、導入施設の方向性をいかに絞り込んでいきます。
※第2回からの参加も可能です。詳細はお問い合わせください。

お問い合わせ先 世田谷区教育委員会事務局 学校適正配置担当課
電話 03-5432-2722

第2回 ワーク ショップ



← 記念すべき第1号

2013(平成25)年12月発行
「ここでやってみたいこと」
を出し合いました。

↑ 機能や施設の配置など、様々なことを話し合ってきました。

準備会での質疑応答と主な意見

<開館時間>

Q 開館時間などはどうやって決まるのか？

A 区が管理をするので、区の方針で決まる。フリースペースは地区会館に準ずる。

<維持管理について>

Q 利用団体の清掃を徹底して欲しい。剣道は裸足になるので、前の団体の清掃が不十分だと困る。モップが汚れていることもある。

A 清掃は利用団体のほか、管理者も行う。モップ等清掃道具の管理は管理者が行うことになる。地域振興課が管理する施設の中で土足禁止は遊戯室のみ。児童館は靴を脱ぐ。

<憲章について>

- ・これまで話し合ってきたことが入っている。表現の修正はあるかもしれないが、内容はこれで良い。
- ・この内容を理解してくれる利用者なら、運営もうまくいくと思う。

<花見堂地区会館、代田南児童館、障害児通所施設の複合施設の愛称の決め方について>

- ・インターネットではなく、実際に施設に足を運んでくれている人で決めたい→案2で進めたい。
- ・障害児通所施設は、令和4年度中開所予定。名称はまだ決まっていない。
→障害児通所施設とも一緒にやっていきたい。名称も統一したものがつけられないか。
→区では、運営事業者の公募時に名称の条件は提示していないが協議する。
→将来事業者が変わった場合にも名称が変わらないよう、条件をつけておきたい。
→行政だけでなく、地域の人たちも「花見堂」という名称の趣旨を将来に伝える役目がある。

<新施設利用の意思確認>

- ・元々花見堂小学校を使っていた団体等に、新施設に戻ってきたいかどうか、あらためて意思を確認する必要がある。
→バレーボール、剣道、野球など。
- ・スポーツ系だけではなく、会議室を使いたい活動団体もあるので、それらの団体の意向についても、地域の方々が手分けして確認する必要がある。
- ・花見堂小学校を利用していた団体は、現在代沢小学校を利用している。代沢小を利用している団体から、小学校に「花見堂の施設は使えるのか」という問合せがあったと聞いた。
→区から小学校に連絡して状況を把握、必要に応じて意向を確認する。
- ・元々花見堂小学校を利用していなかった新規団体が運営会議に入り、施設を使いたいという場合は、趣旨に賛同してもらう必要がある。これらの団体の公募は正式に運営会議が立ち上がり、体制ができて落ち着いてからの方が良いだろう。
- ・児童館との調整も必要である。児童館の遊戯室の利用については、あらためて地域振興課と調整する。
- ・児童館の施設運営に支障のない範囲での団体利用についても引き続き調整する。

<けやきネット>

- ・地区会館の会議室は、地域の利用がない時間帯は、けやきネットで利用者を受け付ける。
- ・けやきネットのスケジュールでは、利用の2ヶ月前には利用受付を開始するので、例えば12月に利用をスタートさせるとすると、10月には予約受付を開始することになる。
- ・それまでに地域団体の要望を確認し、決めるのは困難ではないか？
- ・けやきネットの対象となるのは会議室であり、遊戯室と広場は対象外なので、それなら可能ではないか。